

厚生労働科学研究費補助金（肝炎等克服緊急対策研究事業）
分担研究報告書

北海道における受検～受診～受療に至る効果検証と質向上のための肝炎医療コーディネーター養成のあり方

研究分担者 小川浩司 北海道大学病院 消化器内科 助教

研究要旨

【背景】2017年9月10日北海道において初となる肝炎医療コーディネーター研修会を開催した。【方法】研修会の参加者にアンケート調査を行い解析した。【結果】参加者125名にアンケートを配布し、118名（94.4%）から回収し解析した。主な参加者は看護師が45%、事務職が17%、薬剤師が14%、保健師が7%、MSWが8%で、幅広い年代に参加いただいた。札幌圏内のみならず地方からも参加いただいた。92%の方に肝炎医療コーディネーターについて理解いただき、今後取り組み出来そうな場面としては受検勧奨で51%、受診勧奨で39%、受療援助からフォローアップで53%であった。【結語】北海道において初となる肝炎医療コーディネーター研修会を開催し125名を養成した。

A. 研究目的

肝炎から肝硬変、肝臓への移行を減らすためには、肝炎ウイルスによる肝病態の進展抑制が必要である。そのためには肝炎ウイルス検査の受検、受診、受療の促進が必要である。肝炎医療コーディネーターは肝炎に関する基礎的な知識や情報を提供し、肝炎への理解の浸透、相談に対する助言や相談窓口の案内、受検や受診の勧奨、制度の説明などを行うこととされ、2017年4月に都道府県に養成するように通知されている。

2015年度で肝炎医療コーディネーターを養成している都道府県は33自治体に及ぶが、北海道では未施行であった。2018年度から北海道でも養成を開始するが、それに先立って2017年9月10日北海道大学病院肝疾患相談センター主催で北海道肝炎医療従事者研修会～肝炎医療コーディネーター研修実現に向けて～を開催した（図1）。

図1 開催概要

北海道肝炎医療従事者研修会
～肝炎医療コーディネーター研修実現に向けて～

日 平成 29 年 9 月 10 日 (日) 10:00～15:00
場 北海道大学学術交流会館 1 階小講堂 (札幌市北区北 8 条 5 丁目)
定 先着 100 名 (定員に達し次第の締め切り)
対 肝炎医療従事者(医師、看護師、保健師、薬剤師、社会福祉士、栄養士、臨床検査技師、事務職員、企業における衛生管理者など) 健康増進に関わる関係者(保健師、薬剤師、社会福祉士、栄養士、臨床検査技師、事務職員、企業における衛生管理者など)

プログラム

| | |
|---|-----------------------|
| 開会挨拶 | 北海道大学病院 消化器内科 部長 藤本 隆 |
| 本日の研修会について(2017年4月厚生労働省の通知) 肝炎医療コーディネーター養成について | 肝疾患相談センター 事務 藤村 洋子 |
| 肝炎医療コーディネーターとは 役割、養成方法、就業、医療費の負担制度などの幅広い知識とスキルをもち、肝炎の患者さまが安心して検査や治療を受けたり、日常生活を送ることができるようサポートする相談員です。北海道大学病院では、この肝炎医療コーディネーター育成の一環として、北海道肝炎医療従事者研修会を開催いたします。 | 北海道大学病院 消化器内科 部長 藤本 隆 |
| 研修会後のフォローアップ | 北海道大学病院 消化器内科 部長 藤本 隆 |
| 質疑応答 | 北海道大学病院 消化器内科 部長 藤本 隆 |
| 閉会挨拶 | 北海道大学病院 消化器内科 部長 藤本 隆 |

研修会後のフォローアップ

- 肝炎医療コーディネーターの活動場
- 肝炎医療従事者の情報提供
- 肝炎ウイルス検査の促進策
- 肝炎ウイルス検査結果報告書の解説
- 肝炎医療従事者研修会の紹介
- 研修会後のフォローアップの紹介

研修料 無料
交通費 受講者負担
お申込 平成 29 年 8 月 31 日 (木) 締め切り
研修会当日は無料です。お申し込みの際は、お申し込みの旨をお知らせください。お申し込みは、お申し込みフォームからお申し込みいただけます。
お申し込みフォーム: http://www.hokkaido.ac.jp/iver_center/

お申込・お問い合わせ
北海道大学病院 肝疾患相談センター
〒060-8648 札幌市北区北 14 条 5 丁目
TEL: 011-706-7158 FAX: 011-706-5530
e-mail: iver_reception@hokkaido.ac.jp

B. 研究方法

北海道で初となる肝炎医療コーディネーター養成研修会を開催し、様々な職種の125

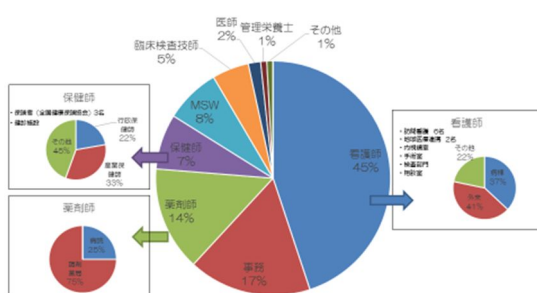
名に参加いただいた。その際にアンケート調査を行い解析した。

C . 研究結果

参加者 125 名にアンケートを配布し、118 名 (94.4%) から回収し、結果を解析した。

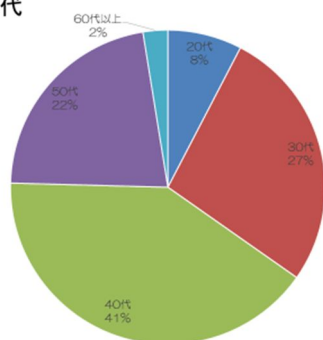
職種：主な参加者は看護師が 45%、事務職が 17%、薬剤師が 14%、保健師が 7%、MSW が 8%であった (図 2)

図2 職種



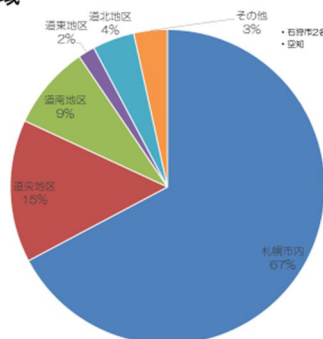
年代：20 代から 50 代まで幅広い年代で、職種についての経験年数も 5 年未満から 20 年以上まで様々であった (図 3)。

図3 年代



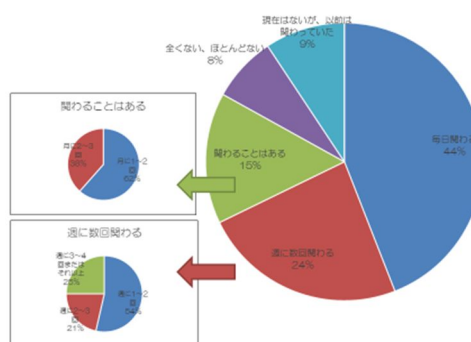
地域：札幌市内が 67%であったが、札幌圏外、さらには道南や道東、道北の遠方の方も参加いただいた (図 4)。

図4 地域



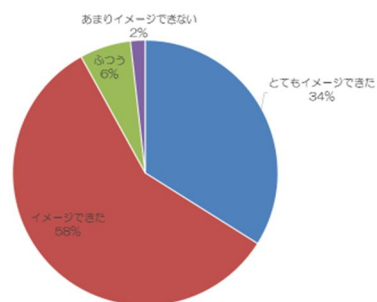
肝疾患と関わる機会：毎日関わる、週に数回関わりと回答した方で 68%を占めていた。

図5 肝疾患と関わる機会



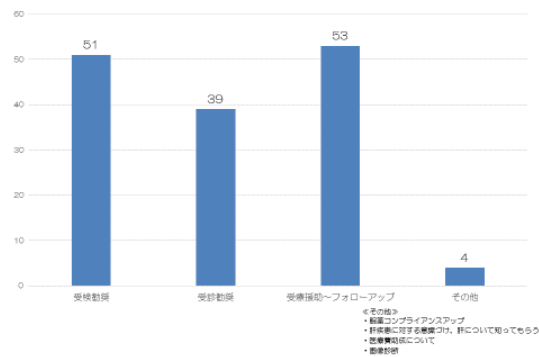
約 5 時間にわたる講義で 92%の方に肝炎医療コーディネーターについて理解いただいた (図 6)。

図6 肝Coの役割についてイメージできたか



今後取り組み出来そうな場面として受検勧奨で 51%。受診勧奨で 39%、受療援助からフォローアップで 53%であった (図 7)。

図7 どのような場面で取り組みが出来るか



D . 考察

北海道で初となる肝炎医療コーディネーター研修会を開催した。今回養成したのは125名であるが、2018年度からは北海道が主催となり、更に人数を増やすことが可能となる。北海道は広大で人口は札幌を中心とする道央地区に集中している。地方は肝臓専門医数も少なく、肝炎対策は課題として残っている。その意味でも肝炎医療コーディネーターの果たす役割は大きいと考えられる。

今回幅広い職種、年代、地域の方を肝炎医療コーディネーターとして養成した。今後、各々の活動場所において受検、受診、受療の促進に寄与してくれる可能性が考えられた。また、今後養成したコーディネーターへの定期的なフォローアップ研修も行い、スキルアップを図ることも重要と考えられた。

E . 結論

北海道において初となる肝炎医療コーディネーター研修会を開催し、125名を養成した。

F . 研究発表

1 . 論文発表

特記事項無し

2 . 学会発表

特記事項無し

G . 知的所有権の取得状況

1 . 特許取得

特記事項なし

2 . 実用新案登録

特記事項なし

3 . その他

特記事項なし

